

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室『クラ・ゼミ』福島校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 30日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 30日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からお子さんの状況を保護者様にフィードバックや個別の相談で伝え、『クラ・ゼミ』とご家庭で共通理解ができています。	フィードバックや個別の相談ではいろいろな課題や出来ることについて、短い時間で的確にお伝えしています。	今後もフィードバックや個別の相談について、保護者様が必要なときに対応できるように進めていきます。
2	『クラ・ゼミ』を利用しているお子さんが楽しく療育に取り組んでいます。	1人1人に寄り添って楽しく療育に取り組めるように、お子さんにあった楽しい課題を選び、本児のペースで丁寧に取り組んでいます。	1人1人の今の療育の状況を的確に把握しながら、取り組んでいきます。
3	専門的支援体制が整っています。	公認心理士や理学療法士、作業療法士などの多彩な知識を活かしながら、1つ1つ丁寧に療育に取り組んでいます。	今後も継続して1つ1つ丁寧に療育を行いながら、フィードバックや個別の相談にも丁寧に取り組んでいます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ママカフェなどの保護者様が参加できる研修を行っていません。	コロナなどの感染症があり、集団での取り組みができていなかったため、今後は順次取り組みを進めています。	感染症が落ち着いてきているので、定期的にママカフェ等を実施していきます。(今後も校舎の消毒、換気、体温測定等を並行して取り組みながら進めています)
2	各職員は療育での幅広い知識や技術を今まで以上に整えています。	療育は日々変化しているため、『クラ・ゼミ』での内部研修以外の外部研修にも進んで取り組んでいきます。	日々の支援とのバランスを取りながら、職員の研修に力を入れていきます。
3	週に1回の利用の方が多く、療育を増やすことができていません。	利用している方が多いため、週1回の利用しかできない方が多いです。(週2回に増やしたい方が多く、直接お話があたり、指導員に連絡する方、ラインで連絡が来ることもあります)	欠席などがある時はラインや電話にて、空きができたらずぐに保護者様に連絡するようにしています。(祝日等は前もって連絡を受けるようにしています)

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 どもサポート教室『クラ・ゼミ』福島校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2025年 1月 13日

回収数 28

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	5				一戸建ての住宅なので、広くはないですが、行事などを行うときは2部屋を使って行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	5		1	・小集団活動になる時が少し多めだったように感じました	お子さんに寄り添う指導員が多い方が、療育がより安定するので指導員の人数を多くしています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	13	2			古い一戸建ての住宅なので、部屋が狭いです。壁の角にはクッションを貼り付たり、階段には滑り止めのシールを貼っています。今後も安全第一で療育を進めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	5				毎朝、清掃して気持ちよく療育ができるようにしています。その時の活動に合わせて、1部屋から2部屋を使った空間にしています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	3			・先生によって支援の差があるように感じています	『クラ・ゼミ』での毎月の研修をしっかりと行い、より一層の療育の向上に取り組んでいきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1				今後も1人1人のお子さんに合った個別療育を行ってまいります。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	2				フィードバックや相談、個別療育の中での内容を踏まえながら、今後も継続して療育を進めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1		1	・移行支援→そろそろ必要かと	現在、子ども園から小学校、小学校から中学校、へと移行することや、支援級から普通級への変更等いろいろな支援について相談に応じたり、学校に向いてお話をしたりしていますが、今後も継続して行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2				お子さんの現在の状態に合わせて、今後も継続してその時にあった支援目標や支援内容にしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	4	11	11		個別支援の療育を行っているので、他の施設との活動の場はありませんが、今後行事等で交流を進めていきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	9	4	8	・研修会あったらいいなと思います	個別の保護者様との相談には対応していますが、今後、ママカフェ等の保護者様が参加する研修会を行ってまいります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27	1				フィードバックや相談を行っています。今後も継続して行っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	2		2	・いつも優しく話を聞いていただけてとても救われています	個別に相談やフィードバックを行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28				・お忙しい中いつもありがとうございます	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	15	4	3	・兄弟も参加出来たら助かります	放課後等デイサービスや児童発達支援の行事は行っています。今後は放課後等デイサービスと児童発達支援の混ざった行事にも取り組んでいきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	2	3		個別の相談や学校等の関係機関との話し合いを行っています。今後も継続していきます。（学校等関係機関にも理解していただけるよう進めていきます）
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	2			個別の療育の中やフィードバック、ライン等で連絡を密にしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	6	3	・行事は分かりやすいように玄関に目立つように貼ってある	行事の内容を玄関等にはったり、フィードバック時にお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1			引き続き個人情報の漏洩等がないように取扱いには注意して取り組んでいます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	4	4	・事故防止マニュアルの説明をお聞きしたいです	今後も全保護者様に周知、説明が徹底できるように、その都度お知らせしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	4	3		毎月1回定期的に避難訓練を行っています。今後も継続して行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	2	2		日々安全を第一に療育の支援を行っています。今後も継続して取り組んでいます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	3	8	・事故等にあつたことがない	ヒヤリハットや事故等が発生したときには、素早く保護者様や市役所等関係機関に連絡するようにしています。今後も保護者様にその都度説明しながら進めていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28			・安心感もってます	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	2		・毎週とても楽しみにしており、日々の生活の中でも「クラゼミさんで〇〇したい！！」と楽しそうに話してくれます。また成長をととても感じる事が出来ています ・学校休んでも来ます	
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1	4	・子どものその日の体調や気分に合わせて考えながら支援をしてくれている	1人1人の個別支援計画の支援目標と支援内容をしっかり踏まえて、利用児や保護者様が満足できる支援を継続して進めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室『クラ・ゼミ』福島校			公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・個別対応のためそれぞれ個室での療育ができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・一軒家のためバリアフリー化は難しいですが、一階・二階の使い分け等で工夫しています。	古い戸建ての住宅のため1つ1つの部屋が狭いですが、壁の角にはクッションを貼ったり、階段には滑り止めを貼るなどしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・清潔を心がけていますが障子や畳など設備が古く、破損しやすいものもあります。	毎朝、清掃してお子さんが気持ちよく来校出来るようにしています。療育の用途に合わせて、広く使う時は2部屋を繋げて行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	・内部監査を定期的に行っています。	年2回本部の内部監査を、3か月に1回のミニ監査（他の校舎の管理者による監査）を行っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・担当制ではないため情報の共有ができ支援におとしこむことができています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		職員全体でモニタリングと個別支援計画についての話し合いを行っています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・様々なスタッフが支援することで多面的にアプローチできています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・小集団での活動イベントが少ない印象です。	個別活動を中心にしています。集団活動は個別活動での動きの確認を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3		当日の担当職員と前回の担当職員とで、お子さんの療育についてのお話をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・共有の必要度の高い情報をなるべくすぐに伝えあっています。	19時に支援が終了することが多いので、翌日の10時から12時までの間に振り返りを含めたミーティングを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・支援プログラムをいくつか準備し、自分で選択してもらう場合もあります。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・ニーズに応じて連携を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・ニーズに応じて対応しています。	相談支援事業所や子ども園、保育所等にお子さんの利用状況を報告したり、会議を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		『クラ・ゼミ』での活動を小学校へ報告しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・今後設けていく予定です。	個別支援が中心のため今は行ってないが、今後は行事等で連携していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		フィードバックや個別の相談を行っています。研修については今後取り組んでいきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・以前行っていました。(利用者の増加、コロナの時期に控えるようになりました)	個別の相談を行っていますが、今後ママカフェ等で保護者様同士の交流が出来るように進めていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	・活動予定や、実施内容についての発信力が弱い、インスタなどこまめに発信していきます。	定期的にInstagramの更新を行っていますが、今後回数を多くしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		コロナの流行があり地域との交流は行っていませんが、今後感染症が落ち着いたら進めていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・月一回、テーマに沿った訓練を行えています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・食事の提供はしていません。	食事の提供は行っていません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			